

(様式 3)

公益社団法人いちょうの樹

理事長

佐藤 大輔 殿

機密保持に関する差入書

公益社団法人いちょうの樹 理事長 佐藤 大輔(以下「甲」)に対し、【参加者名】(以下「乙」)は、「メンタルホスピタル鹿児島新A棟・B棟増改築工事」(以下「本工事」)の工事施工者選定入札(以下「本入札」)への参加にあたり、甲から開示される情報(以下「機密情報」)の機密を保持することを目的として、下記の項目を遵守することを確約します。

第 1 条(機密情報)

本差入書において「機密情報」とは、甲が乙に本入札にあたり開示した文書、図面、その他書類に記載され、もしくは電磁的または光学的に記録された技術上、営業上その他業務上の一切の知識および情報のうち、機密である旨を記載したうえで開示された本計画に関するものをいう。ただし次の各号に該当するものは除く。

- (1) 乙に委託及び開示した時点において、既に公知または乙が保有しているもの。
- (2) 甲が不特定多数に配布し既に公知となっているもの。
- (3) 開示後に乙の責によらず公知となったもの
- (4) 乙が機密保持義務を負うことなく第三者から入手したもの

第 2 条(機密保持義務)

乙は機密情報を厳に秘匿し、第三者(乙が本入札への参加にあたり機密情報を開示する必要がある乙の協力会社等を除く)に開示もしくは漏洩してはならない。

- (1) 乙は機密保持義務の不履行による責任を負わなければならない。

第 3 条(機密情報の作業と管理)

- (1) 乙は、本入札への参加にあたり必要な場合を除き、機密情報を甲の指定数量以外複写してはならない。
- (2) 乙は機密情報の運搬には細心の注意を払うものとする。
- (3) 乙は機密情報の保管は厳重に管理しなければならない。
- (4) 乙は本入札が終了した場合、速やかに機密情報の原本を返還し甲の確認を得なければならない。

第 4 条(機密情報の返却)

乙は、本入札が終了し、甲の要求があった時は、すみやかに機密情報の原本、複写、要約および各業務につき直接発生した二次的資料を甲に返却または破棄するものとし、機密情報がデータの場合は当該データを完全に消去しなければならないものとする。ただし、法令により所定期間の保存義務を求められる書類及び業務管理等の実務上から一定期間の保管が必要となる書類並びにそれらと一体となって保管された書類等については、この限りではない。

第5条(ミス資料の処分)

- (1) 機密情報の一部が記録された作業ミスによる不要物(以下「ミス資料」)が発生した場合、乙はこれを速やかに粉碎処理、又は溶解処理しなければならない。
- (2) ミス資料は、乙の作業場より一切外部に搬出してはならない。

第6条(疑義の解決)

本差入書に定めのない事項及び本差入書の解釈について疑義が生じたときは、甲乙誠意をもって協議の上決定するものとする。

第7条(調停)

本差入書に関する一切の紛争については、鹿児島地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として処理するものとする。

2022 年 月 日

(会社所在地)

(会社名)

(代表者名)

⑩